

桶川飛行学校平和祈念館企画展示

「昭和100年企画

終戦後の特攻命令」

今年は昭和100年にあたります。日中戦争および太平洋戦争は昭和におきた最大の惨事であり、昭和を語る上で欠かせない出来事です。

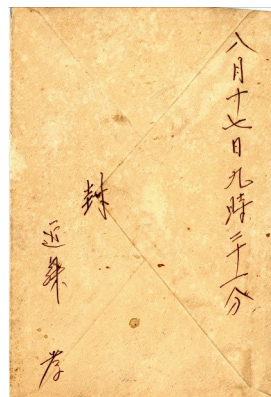
熊谷陸軍飛行学校で飛行技術を学び、飛行兵として日中戦争や太平洋戦争に従軍し、終戦後に特攻命令を受けた山田孝氏。彼の歩みを中心に、開戦前から終戦後の様子を当時の資料とともに紹介します。



山田孝氏



基地にて撮影した写真



遺書を入れた封筒

展示期間 令和8年8月1日（土）から
令和8年10月12日（月・祝）まで
※月曜日（祝日を除く）・9月24日（木）・9月30日（水）は
休館となります。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 山田孝少年とその時代

やまだたかし

みずま

山田孝氏は1918（大正7）年2月に福岡県三潴郡西牟田村（現：筑後市）で生まれます。

1936（昭和11）年3月、18歳の時に満州へ渡り、現役志願兵として砲兵の部隊に入営し、軍人としての歩みを始めます。

この章では、山田孝氏の経歴をもとに、開戦前の様子について紹介します。



山田孝氏



帰国時に撮影した家族との写真

II. 飛行兵 山田孝

1938（昭和13）年12月、砲兵から転科した山田孝氏は熊谷陸軍飛行学校に入校し、飛行機の操縦技術を学んでいきます。1940（昭和15）年に教育が終了したのちは中国戦線、1943（昭和18）年からは南方戦線へと転戦していく中、兄の死や自身の結婚など様々な経験をします。

この章では、当時、山田孝氏が撮影した写真を中心に、飛行兵としての足跡と当時の様子について紹介します。



飛行訓練をする山田氏



満州にて撮影

III. 終戦後の特攻命令～それぞれの終戦～

めたばる

1945（昭和20）年8月15日正午、山田孝氏は目達原飛行場にて玉音放送を聞きます。その2日後の朝、いつも通り出勤した彼に特攻命令が出されます。命令を受けた山田孝氏は家族への遺書を書き、友人に託しました。

この章では、1987（昭和62）年に亡くなられた山田孝氏の遺族の証言を中心に8月15日以降の様子について紹介します。

桶川飛行学校平和祈念館



制作した映像資料

関連企画

○職員による企画展示の解説

開催日：8月9日（日）、8月23日（日）、8月30日（日）、9月12日（土）、9月19日（土）、9月26日（土）、10月10日（土）、10月11日（日）、10月12日（月・祝）

時間：午後2時30分より（所要時間：約30分）

定員：各回20名（先着順）

費用：無料

申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。